

# 和楽荘 びより



社会福祉法人 **和楽会**

2021年5月(55号)

発行者

介護老人福祉施設  
和楽荘 / 広報委員会

広島市安佐南区伴西5丁目  
1432番地1

TEL 082-848-5000

FAX 082-848-4579

URL

<http://www.warakusou.or.jp>

Eメール

[info@warakusou.or.jp](mailto:info@warakusou.or.jp)

恵まれた自然環境の中で生きがいと潤いのある生活を!

## 理事長就任に寄せて…

この度、前任の父に代わり社会福祉法人和楽会の理事長に就任いたしました、伊藤尚志と申します。

1980年に社会福祉法人「和楽会」および特別養護老人ホーム「和楽荘」を開設して以来、40年以上にわたり地域の皆様に支えられながら事業を継続させていただいていることにつきまして、関係各位の皆様に御礼申し上げます。

和楽会はこれまで特別養護老人ホームの他、ショートステイやデイサービスなどの介護事業に携わってまいりました。

さらなる超高齢化社会を迎える今後のため、地域の皆様にとって必要なサービスを常に考え、実行していくことも必要であると考えております。

私はこれまで主に循環器内科医として急性期医療に携わってまいりました。介護の分野にはあまり関わりのない環境であったため、これから多くのことを学ばせていただきながら精進していく所存です。

医療も介護も「人を診る・看る」という点では共通点が多く、この分野は今後さらにニーズが増えていく分、その専門性もこれまで以上に高度な内容を求められると考えております。スタッフ一同、お互いの技術や知識を高め合える環境を作りながら、利用者の皆様によりご満足いただけるサービスを提供し、より良い「和」をつくり上げられるよう、励んでまいります。

御指導御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



社会福祉法人和楽会  
理事長

伊藤 尚志



## 辞令交付式

令和3年4月1日に、令和3年度社会福祉法人和楽会の辞令交付式を執り行いました。

今年は、特別養護老人ホーム5名、訪問介護事業部1名、計6名の新入職員を迎えました。

これから和楽会の一員として、ご入居者、ご利用者の気持ちに寄り添いながら、共に歩いていって欲しいと願っています。



## PCR検査の実施

和楽会でもこれまでの抗原検査に代わり、PCR検査を行っています。

職員一人一人に、担当職員から検体の採取方法を説明し、実施しています。

現在、和楽会では全員が陰性。このまま陽性者ゼロを保つため、職員全員が感染症予防対策を徹底してまいります。

# 特 養



3階 撫子ユニットにて、ひな祭りの行事を行いました。

## 3階 桃の節句



今年は趣向を凝らして、撫子スタッフのお手製の雛人形の顔出しボードで、写真撮影を行いました。普段は、写真を撮りますよ～と言うと、緊張される方もおられるのですが、皆さんお内裏様やお雛様になりきって、とても喜んでくださり、とびきりの笑顔を見せてくださいました。

## 4階 お誕生日会



4月25日に、4月に100歳と107歳のお誕生日を迎えられるお2人のお祝いをしました。萌黄ユニットには、100歳を越えるご入居者が、なんと4名もいらっしゃいます。和楽荘最高齢の107歳を迎えられたご入居者は、お祝いの言葉に涙ぐまれながら、何度も「ありがとうございます」と、とても喜んでおられました。

これからも元気にお過ごしいただけるように、サポートしていきたいと思っています。  
100歳・107歳のお誕生日、おめでとうございます！！



## 5階 端午の節句

5月5日(こどもの日)に5階ではペーパークラフトの兜と鯉のぼりを持って記念撮影を行いました。

皆さん兜を見て「これ紙なん？立派じゃね！」とびっくり。

記念撮影の時には「孫に写真見せてあげたい」「上手に撮れた？」

「見せて！見せて！」とにっこり。少し童心にかえった様な一日でした。



# 広島市戸山・伴・大塚地域包括支援センター

## 「認知症の人とその家族にやさしいまちづくり」を開催しました!!

令和3年3月から4月にかけて、認知症のイベントを開催しました。

“家族支援”をテーマに、講座と図書の展示会を行いました。3月には28名、4月には、ZOOM を用いてオンライン講座を行い、約40名以上の方にご参加いただきました。

展示会にもたくさんの方が足を運んでくださり、認知症について、読み、考え、知っていただきました。そのひとつひとつの皆さんの行動が、認知症にやさしいまちづくりの一步につながると思います。

今後もテーマを変えて開催していきますので、ぜひご参加ください!!

### 共催者からのコメント



広島都市学園大学  
リハビリテーション学科  
谷川 良博 教授

全国的に広がりつつある「認知症にやさしい図書館」の一環として、大塚公民館で「認知症にやさしい図書コーナー」設置に初めて取り組みました。これは、認知症関連の図書を集めたコーナーです。

認知症にやさしいとは、認知症の人が使いやすいというユーザーフレンドリーな取り組みです。図書コーナー設置では、和楽荘の職員の皆さま、地域包括支援センター、社会福祉協議会や大塚公民館、そして、当学の大学生などの多くの人々の協力があって、成功できました。

きっかけは、小さな図書コーナーですが、継続することで、多世代の人を巻き込み、今度の地域づくりの大きなうねりに発展していく予感がしています。今後も見守ってください。



大塚公民館での新しい取り組みに、POP作りや展示会の準備等で参加させていただきました。

和楽荘の皆様をはじめ多くの方と関わって、大変充実した取り組みとなりました。この取り組みが認知症の人とご家族への理解と、「やさしいまちづくり」のきっかけになると幸いです。



広島都市学園大学  
片山 智恵美 司書

#### 【講座を終えて】

この度の講座では、事前の打ち合わせや準備等多くの皆さんにかかわっていただき、参加者から前向きな感想を聞くことができ、私たち主催者にとりましても大変喜びを感じることができました。ありがとうございました。

(大塚公民館 毛利 誠)



大塚公民館  
森山 恵世さん・毛利 誠 館長

参加した皆さんが満足している様子や、アンケートの「参考になりました」「有意義な時間でした」等の感想を見ていると、この講座を行う事ができて本当によかったと感じました。

ありがとうございました。

(大塚公民館 森山 恵世)



## 図書展示の様子

新聞紙で作った棒を使って体操もしました！



## 講座の様子



## わたしたちがポップを作りました！！

選書のポップカード作成を通じ、わずかではありますが、地域の企画に参加することができうれしく思います。

また、本年度の新入職員を含む若手職員が、広島都市学園大学谷川教授の講演を ZOOM で拝聴し、認知症に関する知識を深める機会をいただきました。

今回得られた知識を、ご利用者、ご家族、地域の皆様に還元できるよう頑張っています。

特別養護老人ホーム  
主任 小林 弘明



# デイサービス

## 「和楽(わら)うデイサービス」和む・楽しむ・笑う



おひな様の壁画

折り紙を細かくちぎり、ピンセットなどを使って一枚ずつ貼り付けていきました。

趣味活動以外にも、昼食後の空いた時間などを使って製作し、1ヶ月かけて完成しました！



桜の壁画

コーヒーフィルターをピンクの絵の具で色付けし、桜の花を作りました。幹の部分は折り紙をちぎり貼り絵をしています。

「綺麗じゃねえ…」と、皆さん春を堪能されました。



鯉のぼりの壁画

落ち込みがちな毎日を少しでも明るく過ごそうと、ユニークな作品作りを目指しました！

「何かね？これは？」など、ご利用者同士でお互いの作品を見て、笑顔いっぱいになりました。



音楽の会

窓をあけ、換気を行いながら、美しいピアノの音色を聴きました。

「東京ブギウギ」に合わせてリズム体操では、ご利用者の笑顔がたくさん見られ、楽しい時間になりました。



虫叩きゲーム

たくさんのハエをどれだけ取れるかを競うゲームです。ハエの裏側に職員の顔が貼ってあるものを捕まえるとマイナスポイントになるため、数を多く取ったご利用者でも負けてしまう、大逆転もある楽しいゲームです。



風船パタパタゲーム

30秒間うちわで風船をあおぎ合い、相手の陣地に風船が入っている方が負けというゲームです。単純なゲームですが、意外と盛り上がり、皆様一生懸命に扇がれていました。

## 訪問介護事業部



本日のお品書き

チンゲン菜の玉子とじ

牡蠣とほうれん草のソテー

オクラのおひたし お赤飯



## ヘルパーさんの つれづれ日誌



ヘルパーはご利用者のお宅に伺って、その方に必要な支援をさせていただきます。仕事の様子など、ヘルパーについてご紹介いたします。

今日も冷蔵庫とにらめっこしながら、メニューを考えるヘルパーさん。今回は「牡蠣」を使った料理をメインに作ってみました。オクラはおひたしに、チンゲン菜は卵とじにしています。彩りよく、バランスよく、美味しく楽しんで食べていただけるようにと、毎回気を配って作っています。

ただ、実はヘルパーさん…牡蠣が苦手。触るのもちょっとと思うくらい苦手な食べ物なんだそう。それでも「利用者さんに喜んで貰えるなら、平気よ～！！」と、笑顔で話してくれました。本当に頼もしいです。

次のお宅ではどんなメニューになるのでしょうか。とても楽しみです♪

## 居宅介護センター



福祉用具専門相談員  
係長  
山下 誠貴 様



福祉用具専門相談員  
+新米パパ  
山西 規之 様



### 編集後記

令和3年度がスタートしました。一面にもありますが、今年度は理事長の交代という、大きな変化で始まりました。

和楽荘のあちこちで、職員の輪の中で、職員たちと共に考え、笑い、意見を交換し合う新理事長の姿を見ながら、和楽会の新しい時代の訪れを感じています。

新型コロナの影響により、私たちの毎日も様変わりしましたが、ご入居者に寄り添う気持ちは変わらずにありたいと思っています。

和楽荘だより55号をお届けいたします。

### 居宅ケアマネジャー勉強会



居宅介護センター和楽荘では週に一度、定例会という勉強の機会を設けています。

この会では最新の介護保険情報の取得や地域の福祉資源の紹介、ご利用者の支援方法を考えるための事例検討などを行っています。

今回は福祉用具を専門に扱う、フランスベッド株式会社メディカル広島営業所よりお二人の専門家をお招きし、口腔や気管内の痰をとる「吸引器」について講習を受けました。

専門医による診断や利用開始前の諸手続きなど、今後の支援に必要な情報を得る事ができました。

「吸引器」を使用する高齢者の方は介護度が高く、又終末期の方も多いためご家族の負担も大きなものがあります。

知識だけでなく、使う人の苦労や想いを考えながら、説明や提案が行えるケアマネジャーを目指したいと思います。

居宅介護センター和楽荘 専用TEL : 082-848-5221  
E-mail: warakusoukyotaku2016@yahoo.co.jp

和楽荘 電話(代)082-848-5000 お気軽にご相談ください  
個人情報の取り扱いについて…個人情報保護法に基づき適正な取り扱いをしています